

日本語教育部

■2016 年度

日本語教育部では、1年に春学期と秋学期の2回日本語コースを提供し、本学に在籍する留学生や各部局の留学プログラムに対応している。このほか、日本語教育関連プロジェクトや各種の留学プログラムの企画・運営も行っている。

1. 日本語教育関連プロジェクト

▼ウェブ版プレイスメントテストの開発

日本語教育部では、学期開始時に学習者が受講する日本語授業を決めるため、プレイスメントテストにより日本語レベル判定を行っている。プレイスメントテストをインターネット上で行えるよう、2014年度にウェブ版のプレイスメントテストを開発した。このウェブ版プレイスメントテストは、まず2014年度秋学期の全学講習科目受講生を対象に実施され、その有効性を確認した。2015年度春学期からJOYプログラム生に対しても全面的に実施され、2016年度春学期からは学部新入留学生に対しても実施された。

▼簡易プレイスメントのアップロードと実施

昨年度に引き続き国際教育センターHPにリンクしてある「簡易プレイスメントテスト」「日本語クラスナビ」を、渡日遅れの学生や渡日前のYCCS生に活用した。

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/web_placement_test/Japanese_Level_Check.html

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/course/class_navi/navi01.html

▼日本語サポーターの日本語クラス参加

2013年度より日本人学生による留学生支援や留学生との交流の促進を目的に日本語サポーターバンク制度を取り入れている。国際教育センターホームページ上で日本語サポーター募集クラスを公開し、日本人学生の日本語クラスへの参加の機会を提供している。2016年度は様々な学部にも所属する学生計55名が

新規登録をし、主に初中級レベルのクラスに参加した。前期後期と年間を通して参加した学生や、コース終了後も留学生との交流を続ける学生もいた。

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/course/japanese_students.html

▼学内 SS プログラム生等の日本語クラス参加・特別クラスの開催

SS プログラムで来日する留学生や他学部実施のプログラムに参加している留学生が日本語を学ぶ機会を提供するために、ウェブ上で申込みの手続き等を周知し、クラス参加の機会を提供した。

<http://www.isc.ynu.ac.jp/course/pdf/SS-3.pdf>

1) 開講中のクラスへの参加

- ・上海交通大学学生 3 名 12 月～1 月

2) 特別クラスの開催

- ・2017 年 1 月 28 日に半沢が華東師範大学 MBA コース学生 15 名に対し、“Introduction to Japanese Language” と題した講義を担当した。
- ・2017 年 2 月 8 日に半沢がベトナム国家大学ハノイ校経済経営大学の学部生 17 名に対し、“Introduction to Japanese Language” と題した講義を担当した。

▼学内行事「第六回 YNU 日本語スピーチ大会」開催

平成 28 年 12 月 13 日、教育文化ホール大集会室にて第六回 YNU 日本語スピーチ大会を開催した。本学で学ぶ留学生 10 名が「わたしを変えた言葉」というテーマでそれぞれの思いを日本語で表現した。当日は留学生を含む本学学生、本学教職員の他、日ごろ留学生支援に携わるボランティアの方々等総勢 140 名が来場した。審査の結果、最優秀賞はロシアからの留学生で、国際社会科学府研究生のプロホロワ・マリアさんが受賞した。なお、今回のスピーチ大会は国際交流の機会を促進するという目的のもと「国際理解：国際交流における日本語の役割」クラスの受講者に原稿のチェックやスピーチの練習の手伝いをお願いし、当日もスピーチ大会の運営に携わってもらった。スピーチ大会当日の様子は本大会後援でもある読売新聞にて（12/14）紹介された。

2. 日本語教育コース

▼全学講習日本語コース／JOY 日本語プログラム

「全学講習日本語コース」は、研究生を含む本学の留学生対象のコースである。「JOY 日本語プログラム」は、短期交換留学プログラムの学生を対象とするプログラムで、国際交流科目として開講された日本語科目である。研究生や大学院生が修了条件を満たした場合には、修了証を発行している。尚、本プログラムの概要、受講手続等については、年2回『日本語プログラムパンフレット』を発行し、国際教育センターホームページにおいても公開している。

▼日本語研修コース

日本語研修コースは、前期は予備教育生（大学院進学予定の国費研究留学生）を、後期は予備教育生および教員研修留学生を対象とした15週のコースであり、レベル等によって、7～9コマの日本語科目の受講を義務付けている。

▼YCCS プログラム

1期生6名、2期生10名、3期生10名、4期生10名が日本語授業を受講した。

▼学部教養教育：外国人留学生のための授業科目

教養教育科目「日本語中級」8コマ、「日本語上級」12コマ、「日本語演習」3コマ、「日本事情」1コマ開講し、年間延べ約300人の学生が受講した。

▼英語による特別プログラムの日本語科目

2016年度秋学期に以下の英語による特別プログラムの日本語科目を開講した。

- ・国際社会科学研究科財務省国税局提携による特別プログラム（MPE）
- ・インフラストラクチャー管理学 博士課程前期コース（IMP）

3. 各種留学プログラムの運営

▼日韓共同理工系学部留学生事業（日韓プログラム）

2016年度10月には第2次事業7期生7名の日韓生を受け入れ、半年間の予備教育を担当した。日本語クラスは、4技能を全体的に養成するクラスを4コマ、理工系日本語表現法1コマの5コマを必修としたほか、レベルに応じて計3コマ

を選択科目として履修させた。そのほか、日韓プログラムために特別開講した「理工系留学生のための英語」クラス1コマ、「留学生のための理工学入門」クラス2コマを履修させたほか、学部開講の「理工学部生のための数理モデリング」のクラス1コマを科目履修生として受講させて、専門教育の充実を図った。結果、学部の正規生に混じり、秀1名を含む全員合格という健闘振りを見せた。

さらに、大学での理系科目講義に慣れるために、理工学部教員の指定する学部理系科目講義を1コマ聴講し、その予習・復習を個人チューターとともに行うよう指導した。そのほか、2回にわたり、千葉大学・東京工業大学、埼玉大学との合同の講演会およびプレゼンテーション発表会を行った。

▼横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム

韓国の世宗大学校と本学教育人間科学部の部局間協定に基づいた授業料徴収型短期留学プログラム「横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム(通称世宗プログラム)」が、半年の試行期間を経て正式実施の4期目に入り、4月～2月までの11ヶ月間、16名の学生を受け入れた。学生は日本語科目14単位、専門科目4単位を履修、その単位は世宗大学校で互換単位として認定される。日本語教育部は教育人間科学部世宗プログラム委員および教務課基盤教育係の協力を得ながら、日本語を含む学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。

▼日本語・日本文化研修留学生(国費)の受け入れ

2014年度より、日本語日本文化研修生(国費)の受け入れを開始した。1期生4名(ブルガリア1 インドネシア1 タイ2)、2期生3名(韓国、フランス、ベルギー)、3期生3名(ハンガリー、ミャンマー、韓国(大学推薦))は、本学プロジェクトほかとともに、日本語科目を履修した(各学期合計12単位以上)。

▼科目等履修生制度の実施

神奈川県下の大学に在籍する留学生を対象に、日本語科目を履修できる制度として、科目等履修生として受け入れる制度を作り 2016 年 3 月、9 月に募集を行った。

▼YNU 日本語サマープログラムの実施

2016 年 7 月 4 日～15 日に YNU 日本語サマープログラムが実施された。8 名の留学生が参加し、午前中は日本語の授業を、午後は英語で行われる日本事情・日本文化に関する講義を受けた。プログラムの最終日には「日本人の 1 日のスケジュールと好きなものを調べる」「自分の国と日本を比較する」というテーマで日本語によるポスター発表を行った。

▼横浜国立大学日本語・日本文化プログラム

2016 年 10 月より新しく授業料徴収型短期留学プログラムである横浜国立大学日本語・日本文化プログラムを立ち上げた。国際戦略推進機構と相手大学の学部等との部局間協定を結び、修学期間は 1 年または 6 ヶ月とする。学生は原則として国際戦略推進機構が開講する日本語科目、および講義科目（日本語による日本事情科目、国際理解科目および英語による YCCS 科目）を年間 20 単位（6 ヶ月の場合は 10 単位）履修する。その単位は派遣大学で互換単位として認定される。2016 年 10 月には台湾の淡江大学から 10 名、文藻外語大学から 7 名の学生を受け入れた。文藻外語大学の 2 名は 3 月末で帰国、4 月からはさらに 5 名の学生を 1 年間受け入れる。日本語教育部はプログラム委員および学務部国際教育課国際教育係の協力を得ながら、学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。

▼国内・海外出張

・2016 年 12 月 16 日に四方田が協定校である台湾・淡江大学を訪問し、横浜国立大学日本語・日本文化プログラムについての説明会を開催した。併せて関係者と派遣に関する意見交換を行った。

・2017年3月7～8日に四方田および金が協定校である台湾・文藻外語大学を訪問し、横浜国立大学日本語・日本文化プログラムについての説明会を開催した。併せて関係者と派遣に関する意見交換を行った。